

■新型コロナウイルス感染症に関する議長メッセージ

令和2年度出雲市議会12月定例会を、11月30日から12月18日までの19日間の会期で開催しています。定例会では、新型コロナウイルス感染症緊急地域経済対策第6弾を含む補正予算など45件の議案、請願・陳情などを審議しています。

さて、新型コロナウイルス感染症は、11月に入り急速な拡がりを見せ、日々不安を感じていらっしゃる方も多いと思います。

本市においても、12月6日以降、10名の患者さんが確認されました。県では引き続き調査が行われているということですが、更なる感染拡大がないよう祈念しています。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に対し、お見舞いを申しあげるとともに、一日も早い回復をお祈りします。

今回の全国的な感染拡大は、重症化リスクが高い中高年の患者さんが多いことから、北海道や都市部での自治体では、医療体制がひっ迫していると聞き、大変心配しています。このような事態が、一刻も早く収束するようお願いしているところです。

市民の皆様には、これ以上感染拡大を招かないよう、感染予防の基本【マスクの着用・手洗い・三つの密を避ける等】しっかり行っていただくとともに、こまめな換気と加湿に心がけ、自分と大切な人の命を守りましょう。

市ではこのほど、「新しい暮らし方出雲ウイズコロナ」が12月18日に発行されます。この冊子には、コロナ禍での暮らし方が紹介されています。ぜひ参考にされ、感染しない、させないためにできることから始めましょう。

新型コロナウイルス感染症は、いつ誰が感染するかわからない病気であり、決して「他人事」ではありません。

しかし、罹患者やその接触者となった人に対する、いやがらせやいじめ、SNS上での誹謗中傷といった人権侵害につながる行為が後を絶たないと聞き、大変残念に思っています。

市民の皆様におかれましては、県・市が発信する正確な情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をとっていただきますよう、お願いします。そうした行動が、お互いを思いやる、やさしさあふれる出雲市につながるものと思います。

市民の皆様の一層のご理解をお願いします。

令和2年(2020)12月11日
出雲市議会 議長 川上幸博